

OUTPUT

基盤を生かし、事業を通じて社会課題の解決につながるイノベーションを生み出す

キリングroupは事業を通じて、さまざまな成果を生み出しています。経年での比較を可能にするための代表的な指標として、以下の財務目標・非財務目標を掲げています。

財務目標

FY		2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
ROIC ^{※1}	目標	—	10%以上		
	実績	4.2%	8.5%	8.0%	—
平準化EPS ^{※2} 成長率	目標 (2021年比)	—	年平均成長率11%以上		
	実績 (2021年比)	—	9.6%	13.5%	—

※1 ROIC=利払前税引後利益 / (有利子負債の期首期末平均+資本合計の期首期末平均)

※2 平準化EPS=平準化当期利益 / 期中平均株式数

平準化当期利益=親会社の所有者に帰属する当期利益±税金等調整後その他の営業収益・費用等

非財務目標

項目	テーマ	非財務指標	経済的価値への繋がり	2022年12月期 実績	2023年12月期 実績	2024年目標
環境	気候変動	GHG削減率	省エネ効果による炭素税導入時の費用増低減	18%	31%	23% (2030年 50%)
	容器包装	PETボトル用樹脂のリサイクル樹脂使用率	価値創造による利益創出、PET原料安定調達	8%	28%	38% (2027年 50%)
	水資源	水ストレスが高い製造拠点 ^{※3} における用水使用原単位	製造コスト低減、濁水による製造リスク低減	3.7kl/kl	3.4kl/kl	3.0kl/kl以下 (2025年 2.4kl/kl以下)
健康	中期ヘルスサイエンス戦略推進	「免疫の維持支援」達成度 ①日本国内のプラズマ乳酸菌機能認知率 ②プラズマ乳酸菌の継続摂取人数	売上収益、事業利益拡大	①32% ②64万人	①31% ②78万人	①45% (2027年 50%) ②190万人
		「免疫・脳機能・腸内環境領域における新価値創造」浸透度および「医領域との協働推進」達成度	未実現ニーズの充足による利益創出 新たな健康価値創出による利益創出	非開示 ^{※4}	非開示 ^{※4}	非開示 ^{※4}
従業員	組織風土	従業員エンゲージメントスコア	価値創造による利益創出、生産性向上	70%	70%	75%
	多様性	「多様性向上」達成度 ^{※5} ①日本国内 女性経営職比率 ②日本国内 キャリア採用比率	価値創造による利益創出、生産性向上	①10.6% ②27.3%	①13.6% ②45.4%	①15% ②30%
	労働安全衛生	休業災害度数率 ^{※6}	労働環境改善による意欲向上、生産性向上	1.00	1.36	0.95 (日本：0.40)

※3 ライオン (Lion) のTooheys Brewery、Castlemaine Perkins、James Boag Brewery。

※4 知的財産に関する内容等を含むため、具体的な構成指標および目標水準は戦略上非開示。

※5 集計対象はキリンホールディングス社原籍従業員。

※6 グループ内で生産・物流機能を有する主要なグループ会社を対象とする。工場構内のパートナー会社も含める。